

# 三寶寺 御本尊 阿彌陀如来像 京都・平安佛所にてお受け渡し 平成十五年五月七日(水)



## 阿彌陀如来像の前で

読経 報恩謝徳の思い出!! 京都  
上山と、平安佛所にて御本尊受け  
渡しの法要。  
江里康慧仏師のお言葉「和のこ  
ろ、願主、結縁者、仏師は三位一  
体です。願主は発願者の意向、結  
縁者は経済的に支えられる寺・御  
門徒、仏師は制作に携わる。完成  
してお寺に安置されますと、もう  
一〇〇〇年とか一五〇〇年、ある  
いはもつと長い将来にまで伝わっ  
ていくものです。この度は、三寶  
寺様の阿彌陀如来像完成おめでと  
うございます。」



## 御台座御光

### (彫刻光背御光付)

御台座は、蓮弁截金  
と一対になっており  
ます。阿彌陀如来像  
は御台座御光の上に  
備えつけられます。こ  
れは、地震がもしあつた  
時、御台座が揺れを吸収  
するということです。今  
回、蓮弁截金に江里佐代  
子截金師(人間国宝)の  
お手が入ったのです。截  
金は、金箔を六枚焼き合  
わせたものを、まず篠竹  
刀で細線状に切り、その  
後小筆の先を使って、接  
着剤(ふ)糊と膠を合わ  
せたもの)でその細線を  
貼りつけていきます。



## 江里康慧仏師の 手により

台座より阿彌陀如来像  
を取りはずす。

## 光背御光付の御説明

江里康慧仏師は「一本の  
木から、蓮華(スイレン  
科の多年草、インド産)の  
つぼみ、花の中咲き満花  
をあらわしているのです。  
阿彌陀如来像の御光付は、  
昔は銅でしたが、今は鏡  
をつかつております。」  
私はお話をうかがって  
いて、三種の神器の一つ  
斎鏡を思いうかべており  
ました。鏡は己のすべて  
を映しだすものですから。



## 江里康慧仏師の 手により

本山御裏御点検のため木  
箱におさめる。



## 感無量

総代、御門徒、平安佛所の  
方々、小堀社長らの見守る中で  
受けとらせていただく。  
釈明弘「お釈迦様の赤ちゃんを  
抱いている」と言う。「おでま  
し下さった」坊守の祝いの言葉  
がでた。  
お釈迦様が今、生まれでにけ  
り。光明の中に手を合わせ、新  
しいのち生まれににけり。  
帰命尽十方無碍光如来 南無不  
可思議光如来。

## 小堀社長 確認され

「確かにあずかりました」

御裏御点検の期日交渉、責任を  
持って担当して下さい。



## 截金(きりかね)を担当された

江里佐代子様(人間国宝)の祝福と、  
御子息に見守られての阿彌陀如来像  
完成受け取り儀式でした。尊敬、忍耐、  
謙虚、智慧、慈悲の備わった方々です。



心に如来を思うとき